

令和3年 4月 1日

(宛名) 野田市議会議長

会 派 名 市民ネットワーク  
経 理 責 任 者 名 小室 美枝子



野田市政務活動費収支報告書

次のとおり令和2年度野田市政務活動費に係る収入及び支出について報告します。

- 1 収 入  
政務活動費 270,000円
- 2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	0	
研 修 費	4,652	研修会参加費
広 報 費	172,865	議会報告発行(2回)
広 聴 費	0	
資料作成費	2,100	複写機使用料
資料購入費	13,555	年間購読料
備品購入費	0	
その他の経費	5,992	NHK受信料
合 計	199,164	


3 残 額 70,836円







### 印刷物等作成費確認票

会派名 市民ネット7-7  
 代表者名 小宮菜枝子 

確認事項		確認欄	按分による 支出割合
1	発行元（会派名・住所）が記載されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	$\frac{100}{100}$
2	記事は議会報告、調査研究活動等であるか	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	印刷物は機関紙、後援会報等のものでないか	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	一部に不適正な記事が掲載されてないか ⇒ 按分	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	領収書等の内容は適正か	<input checked="" type="checkbox"/>	

① (作成費用) 98,780 円

作成部数 1,950 部

② 折り込み等の配布費用 0 円

折り込み等の配布依頼部数 0 部

③ 按分率  $\frac{100}{100}$

(①+②) × ③ = (支出額) 98,780 円

領 収 証

野田市議会  
市民会17-7小室美子様

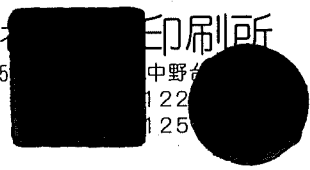
令和2年11月27日

¥ 98,780.-

品 名	数 量	金 額
議会報告 印刷代	19500部	¥ 89,800
税		¥ 8,980

上記の通り領収致しました

有限会社 [Redacted] 印刷所  
〒278-0035 [Redacted] 中野



### 印刷物等作成費確認票

会派名 市民ネットワーク  
 代表者名 小笠原 枝子

確認事項		確認欄	按分による 支出割合
1	発行元（会派名・住所）が記載されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	$\frac{75}{100}$
2	記事は議会報告、調査研究活動等であるか	<input checked="" type="checkbox"/>	
3	印刷物は機関紙、後援会報等のものでないか	<input checked="" type="checkbox"/>	
4	一部に不適正な記事が掲載されてないか ⇒ (按分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
5	領収書等の内容は適正か	<input checked="" type="checkbox"/>	

① (作成費用) 98,780 円

作成部数 1,9500 部

② 折り込み等の配布費用 0 円

折り込み等の配布依頼部数 0 部


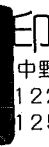

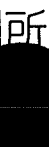

③ 按分率  $\frac{75}{100}$


(①+②) × ③ = (支出額) 74,085 円

③ 広 報 費 ( № 2 )

領 収 証		
野市議会 中野市川-7小室美枝子様		令和3年2月5日
¥ 98,780.-		
品 名	数 量	金 額
議会報告 (印刷代 紙代)	19,500部	¥ 89,800
税		¥ 8,980

上記の通り領収致しました

有限会社  印刷所  
〒278-0035  中野市   
122   
125 



政務活動費より 74,085円支出

領収証

野田市議会  
市民ネット7-7小室義枝子様 2020年 9月 5日

¥ 240

但 資料印刷代 100枚  
上記正に領収いたしました

内訳

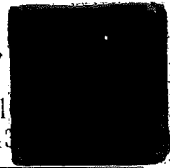
税抜金額

消費税額等 ( %)

市民ネットワーク


〒260-0013 千葉県中央区中央4-1

TEL 043(201)1051 FAX 043





## 納入通知書兼領収書

住所	千葉県野田市鶴奉 7 - 1					
氏名	市民ネットワーク 様					
年度	02	会計	一般会計			
款	項	目	節	摘要	予算区分	調定番号
22	04	05	01	077	現年度	02057658
金額		1,860 円				
納期限		令和 3年 3月31日				
内容	複写機使用料 4～3月分 (市民ネットワーク)					
取扱課名	議会事務局					
上記のとおり納入してください。						
令和 3年 3月23日  野田市長 鈴木 有				領 収 日 付 印	上記金額を領収しました。  千葉銀行 野田支店	
収納金融機関						

野 田 市

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	[REDACTED]							
加入者名	子どもと教科書全国ネット21							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
※				73	00	00		
おなまえ ※ ご依頼人	野田市議会 市民ネットワーク 小室美枝子様							
料 金	(消費税込み)		日 附 印					
2000 円			21-07-03		野田市役所 郵便局			
特殊取扱			(056-12)		0000000000			

この受領証は、大切に保管してください。

子どもと教科書全国ネット21 年間購読料

\*\*\*\*\*

領収書

2021年3月23日

野田市議会 市民ネットワーク 様

¥ 7 2 0 0 円

ただし、『週刊新社会』2020年度年間購読料として

週刊新社会野田総分局

担当




## ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号																																								
03-03-24	05612	A93310005																																								
取扱店	ノタ`イオン																																									
払込口座	[REDACTED]																																									
払込金額	*3,000	料金 *152																																								
<table border="1"> <tr> <td>日</td><td>月</td><td>年</td><td>時</td><td>分</td><td>秒</td> </tr> <tr> <td>[REDACTED]</td><td>[REDACTED]</td><td>[REDACTED]</td><td>[REDACTED]</td><td>[REDACTED]</td><td>[REDACTED]</td> </tr> <tr> <td colspan="6">振替受付票</td> </tr> <tr> <td colspan="6">払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)</td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <table border="1"> <tr> <td>百万人署名運動千両券</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td>3000</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="6">ご依頼人 野田千鶴子 野田千鶴子 小栗美穂子</td> </tr> </table>		日	月	年	時	分	秒	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	振替受付票						払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)						<table border="1"> <tr> <td>百万人署名運動千両券</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td>3000</td> <td></td> </tr> </table>						百万人署名運動千両券	金額	3000		ご依頼人 野田千鶴子 野田千鶴子 小栗美穂子						振替受付票
日	月	年	時	分	秒																																					
[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]																																					
振替受付票																																										
払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)																																										
<table border="1"> <tr> <td>百万人署名運動千両券</td> <td>金額</td> </tr> <tr> <td>3000</td> <td></td> </tr> </table>						百万人署名運動千両券	金額	3000																																		
百万人署名運動千両券	金額																																									
3000																																										
ご依頼人 野田千鶴子 野田千鶴子 小栗美穂子																																										
入金額 *10,155																																										
おつり *7,003																																										
スマホ決済アプリ ゆうちょPay																																										
口座の残高確認も 可能です!																																										

印紙税申告納付につき趣町税務署承認済

「百万人署名運動」年間購読料

⑧ その他の経費 ( No. 1 )

通常払込料金 加入者負担	振替払込請求書兼 受領証 (金融機関控)	
口座記号番号	[REDACTED]	
加入者名	<b>NHK</b>	
金額	51928 円	
期間	令和 2年10月~令和 3年 3月	
<input checked="" type="checkbox"/> 切り取らないでお出しください。	お客様住所・氏名 (住所等非表示払込書) 個人情報保護のため住所の表示を 控えております。  野田市議会 様	
	お客様番号	249-5891-102
収納機関連絡先	日 附 印	
電 話	03-01-21 野田宮崎 郵便局	
備 考	(05550 ) N94110003	

この受領証は、大切に保管してください。 (CVS店舗控)

その他の経費合計 51,928円のうち  
政務活動費より 5,992円支出

(別紙5)

令和3年 2月 9日

野田市議会議長 平井 正一 様

会 派 名 市民ネットワーク

代 表 者 小室美枝子



### 出張調査報告書

調査のため出張（オンラインセミナー参加）しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

#### 記

1 出張者名 小室美枝子

2 出張先及び研修名称等

(場 所) オンラインによるセミナーのため、自宅

(会 場) 〃

(研修会名) コロナから考える公立保育所の存在意義と課題

3 出張期間

令和 3年 1月23日 (土)

4 報 告

◇ 研修会等の状況

①開催時間 午後 1 時 30分～ 午後 4時 00分

②講師等氏名 保育研究所常務理事(進行) 逆井 直樹 氏

奈良女子大学 講師 中山 徹 氏

◇ 参加の目的

2020年4月新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る緊急事態宣言が発出された。保育所における保育事情が各家庭、各運営主体、各自自治体



で異なる中、公立保育所が担う役割をどのように考えたらよいかの疑問に答えうるセミナーと期待した。また、今後の保育所の在り方についても学びたいと思い参加した。

#### ◇ 会議の内容

##### 【コロナ禍から考える公立保育所の存在意義と課題】

#### I 新制度後の変化と予測

##### ①保育所等の急増

女性の就業率の上昇、保育所等の利用者の増加、認定こども園(年間1000園を超える勢いで増えている)・地域型保育の事業の急増、幼稚園の急減(5年間で2651閉園)、保育所の微減の状況。

(野田市に当てはめてみたときとの違いを考察する・・・公立幼稚園の閉園?)

##### ②認定こども園の増加と変化

このまま推移すると2025年には保育所と認定こども園の在籍園児数が等しくなる。

認定こども園のイメージは、幼稚園?と思われがちであるがその在籍者の割合からみると保育所ではないか?

##### ③公立施設の減少

地域型保育所と認定こども園が急増(野田市は地域型保育所の数の増え方はこの統計とは異なる。←小規模保育所の数は、近隣に比べても限定的と思われる)

##### ④保育所等の東京一極集中

2010年から2020年にかけて全国では63.2%増に対して首都圏一都三県の伸びは144.2%増となっている。

##### ⑤出生数の予測

新制度での出生数の伸びを2020年度で1.6人としていた。(しかし、2019年度は1.36人。コロナによる影響で結婚や出産が減少しており、その達成目標は不可能?)

##### ⑥東京一極集中の予測

地方創生で掲げた東京一極集中是正は、むしろ悪化しているという結果(2020年のコロナによる影響はまだ不明)。

⑦女性の就労率の予測

⑧保育所への影響（3～5歳児）

この年齢は無償化の対象となるため、ほぼ全ての子どもが保育所、幼稚園、認定こども園に在籍している状況。

⑨保育所への影響（0～2歳児）

女性の就業率の上昇とともに利用率が上昇する。

⑩就業前施設、事業の予測

ブランド力の高い私立幼稚園が数は少ないが存続する。（存続、運営は厳しくなる）

・認定こども園は在籍児の保育所化が進み1号認定は少数になる。園児の確保が激化。保育内容の幼稚園化が進む。

・保育所・・・私立認定こども園では受けとめにくい子どもを保育所で受け入れる。狭い意味での福祉施設化が進む。（←この指摘は重要）

II コロナ禍で認識された公的保育と公立保育所

①市町村の責任

新制度移行の際に議論となった24条1項の重要性。

②運営費保障の重要性

公立保育所は在籍園児数で運営費が保障されている。（→高齢者施設は、利用者数によるため施設運営の安定性や職員の雇用を継続的に保障していく体制が難しい）

③公立保育所：地域の標準的な保育をつくる（→例：コロナ対応マニュアルを市町村が作成して私立保育所でも活用、コロナ研修を実施し、市内の私立保育所や認定こども園なども参加対象とするなど）

④公立保育所：地域のセイフティーネットを果たす。

III コロナ禍を踏まえた新制度の根本的な見直し—制度改善の方向性—

（新自由主義的な考え方の見直しへの声をあげる→抜本的な改革へ）

①市町村の責任の拡充

②保育財源の在り方→無償化の財源は、消費税の値上げ（消費税から切り離すべき）

③錯綜した保育事業の見直し…どこまで、この制度を理解できているのか



つぎはぎ状態のため、再度確認する必要がある。

#### ④保育環境の改善

ポイントは、子どもの数が減少するから統廃合ではなく、子どもの減少によりこれまでの基準を改善する方向へと向かうべきだということ。

#### ⑤地方での子育て環境維持

子どもが減少するから、保育所を減らす。それは、さらなる出生率の低下を引き起こすことになりかねない。

#### ⑥地域での保育整備

新制度は、競争と効率化を進めた結果、大規模化と広域化、統廃合へ。

#### ⑦保育士資格の必修化と処遇改善

新制度では専門性を軽視してしまった。

### IV 公立保育所の在り方—市町村が目指すべき方向性—

#### ①公立保育所ですべての子どもを受け入れる保育環境整備

社会的に様々な家庭の子どもを預かるということ：私立では受け入れられない？

#### ②公立保育所は地域の子育て施設の要になる施設、どの程度の公立施設が必要か

#### ③保護者会活動の活性化

保護者会の必要性。子どもだけでなく保護者も成長する場→現実には、保護者会の必要性が軽視されている

#### ④専門性の向上、雇用の安定を率先して進める

正規でないと保育士確保が難しい。子どものことを第一に考える保育。

#### ⑤施設更新、改修の長期計画作成

野田市の場合の民営化。

#### ⑥認定こども園化を進める際の留意点

子ども・子育て支援法についての疑問は、1号認定と2号認定の保育の内容をどのようにしていくのかであった。午前中の保育カリキュラムが中心で、午後は自由遊び、流し保育となる傾向である。

### V 公立保育所民営化計画について

これについても関心があったが、財政難を考えると民営化も致し方ないのかとの考えもある。何を基準に考えるべきかを明確にすれば、おの

ずと答えは出てくると再認識。

①確認すべき2つの計画

②コロナの影響が明確になるまで、民営化は凍結すべき

VI保育を改善する方向性

新制度の枠組みでは保育の抜本的な改善が困難

①制度改革と市町村の頑張りが両輪

②国民的課題との整合性

③新自由主義的改革への対抗軸→小泉構造改革、アベノミクスで保育制度が大きくゆがんだ。

◇ 受講して参考になった点等

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、昨年は、突如として一斉休校や保育所の休園による影響が全国で見られた。改めて、学校や保育所、幼稚園等が果たす役割の重要性が浮き彫りとなった。

その中で、改めて公立保育所がコロナ禍で果たす役割について考える必要があると思い、このオンラインセミナーに参加した。結果は、これまでの考えの整理ができたこと、課題がはっきりしたこと、今後に向けた方向性がはっきりできたこと等、大変良かった。また、人口減少や財政面を考慮した統廃合の問題点を改めて学ぶことができたという点でも参考となった。

以下、主な参考点

○保育所の存在意義が、明確になった。

○新制度(子ども子育て支援法)によるつぎはぎだらけとなった子育て制度の問題点を把握する手助けとなった。→保育時間の問題、保育カリキュラムの見直し、公立保育所の重要性など。

○子育て世代の状況は、年々変化しており、残念ながら問題は増加している。

○保育財源については、消費税を財源とすることに反対してきたが、やはりそこには消費税率と連動させることが問題であり、税率をあげることには反対しながら、保育事業の充実を求めることへの矛盾がある。財源確保は消費税と切り離すべきである。

○民間保育所などには補助金があてられるため、更新計画は民間へと移

行する傾向があり、公立保育所の場合は一般財源が当てられるが、財政難のおり民営化に舵を切ってしまう選択がなされてしまうのではないか。改めて計画を確認する必要がある。

○市町村として、保育所のあるべき姿をどう考えるのか？頑張りどころであること。